

令和元年度第1回江南市環境審議会

●日時 令和元年8月23日(金) 午後2時00分～午後4時

●場所 江南市役所 3階 第3委員会室

●出席委員(11名)

会長	楓 健年	副会長	川口 邦彦
委員	大島 康司	委員	太田 立男
委員	林本 圭司	委員	藤田 泰雄
委員	望月 晴夫	委員	黒岩 義光
委員	落合 敬子	委員	石井 進
委員	元 山 哲		

●欠席委員(4名)

委員	横山 史明	委員	熊崎 規恭
委員	伊藤 靖祐	委員	岩井 喜美子

●事務局

経済環境部長	武田 篤司	環境課長	阿部 一郎
環境課主幹	牛尾 和司	環境課副主幹	横川 幸哉
環境課主査	岩井 貴臣	環境課主任	米嵩 浩之
環境課書記	相京 かほり		

●傍聴者数 0人

- 資料・資料① 第三次江南市地球温暖化対策実行計画について
資料② 新たな取り組み案
資料③ 江南市災害廃棄物処理計画(案)【概要版】

■会議経過

○事務局

みなさん、こんにちは、環境課長の阿部と申します。

定刻となりましたのでこれより環境審議会を始めさせていただきます。

本日の審議会の時間ですが、二時間半程度をめどに進めてまいりたいと思いますので、ご協力をよろしくお願い致します。

まず最初に委嘱状交付でございますが、それぞれの席の方に配付をさせていただきますのでご確認をお願いします。委嘱期間は令和3年3月31日までとなっています。では、議題を始めさせていただきますして、武田経済環境部長よりご挨拶申し上げます。

○部 長

皆さんこんにちは。経済環境部長の武田でございます。本日は令和元年度第1回江南市環境審議会の開催ということで、皆様方におかれましては大変お忙しい中ご出席賜りましてありがとうございます。只今お話がありましたように委員の方に委嘱をさせていただきましたが、また二年間お世話になりますけれど、どうぞよろしくお願いいたします。江南市の環境に対しましては環境基本計画、地球温暖化対策実行計画などいろいろな計画を作って現在取り組みを行っているところでございます。また昨年はこの環境審議会の皆様方のお力添えをいただきましてエコシティ江南行動計画を策定いたしまして今年度からその計画に沿って取り組んでいますけれど、まあいろいろとごみ減量、地球温暖化に対するエネルギー問題、そういったものにも取り組みたいというところでこの計画に沿って現在進めているところでございます。また、ごみ処理というところで江南市中般若町の北浦に新しいごみ処理施設の建設ということで現在そちらの方も尾張北部環境組合でいろいろと進めておりまして、現在、環境アセスをやっているところでございます。一方では今年と来年に基本設計を行いまして令和3年度からいよいよ詳細設計、建設と令和7年度から供用開始というところで現在のところ予定通り進んでいるという状況でございます。ただ先日組合の方では公害防止委員会がございまして施設のいろいろな規制値、そういったものもどうするかという検討も始まったところでございます。環境問題は地球温暖化、ごみの減量さらには野焼きや雑草の処理と非常に多岐にわたっていますけれど、最近プラスチックの海洋投棄など新たな問題も出てきているところでございます。本日の議題にもありますが皆様方からいろいろとご提案をいただき、江南市の環境審議会でもそういった取り組みができればいいなと思っております。詳細につきましては後ほど担当の方から説明させていただきますのでどうか皆様の忌憚ないご意見・ご提言をいただきますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいた

します。

○事務局

部長は他の公務の都合で退席とさせていただきます。

それでは会議の方、進めてまいります。

本日の会議につきましては審議委員さんの最初の会議となりますので、まず会長、副会長の選出をお願いいたしますが、選任されるまでの間、私が進行を務めてまいりますのでよろしくお願いをいたします。なお、今の座席順につきましては昨年度までの席にてご着席をいただいております。では、初対面の方もいらっしゃると思いますのでここで自己紹介をお願いしたいと思います。お手元に配付をしています審議会の名簿の順をお願いいたします。なお本日、4名の委員が所用により欠席をしておりますのでご報告をさせていただきます。

それではよろしくお願いいたします。

(各委員あいさつ)

○事務局

はい、ありがとうございました。続いて事務局の方も自己紹介をさせていただきます。

(事務局あいさつ、同席しているインターンの学生を紹介)

続きまして役員の選出にうつらせていただきます。役員につきましては江南市環境基本条例の規定によりまして、会長副会長は委員の皆さんの補選により選出となっております。よろしくお願いいたします。まず会長の選出でございますがいかがいたしましょう？

(会長・副会長を選出)

それでは、これより議事進行は会長にお願いしたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○会 長

それでは、限られた時間ですが早速次第にある、第三次江南市地球温暖化対策実行計画の実施計画について事務局より説明をおねがいしたいと思います。

○事務局

第三次江南市地球温暖化対策実行計画の実施結果について説明させていただきます。座って失礼いたします。

さて、事前配布しています資料①第三次江南市地球温暖化対策実行計画こちらの資料の方をご覧になっていただけますでしょうか？それでは説明の方を始めさせていただきます。まず表紙の1ページ目をお願いします。まず、この計画の概要についてですがこの計画は温室効果ガスの削減に対する取り組みについて書かれている実行計画になります。平成30年度より第三次としてこの計画がスタートしております。第三次の計画、一年目の実施計画の報告をさせていただきます。2ページの方お願いいたします。第三次計画の推進体制について図をお示しさせていただきます。真ん中に点線で囲まれていますところが環境審議会、こちらの会議になりまして、自分がこの計画の進捗状況や各年度の取りまとめた結果をご報告させていただきますので、この報告を踏まえて必要に応じましてこの計画の推進に関するご提案を環境審議会の委員の皆様からご提案をいただくようお願いいたします。続きまして、資料の6ページをお願いいたします。第三次計画の目標についてここに掲げさせていただきます。第三次計画の目標は大きく二つ掲げております。一つ目は、令和4年度における温室効果ガスの排出量を平成28年度比で16パーセント削減するというものになります。それからもう一つ、この目標を達成するために令和4年度におけるエネルギー使用量を平成28年度に比べて6パーセント削減するという目標になっています。7ページ、お願いいたします。平成30年度の実施結果の方をお話しさせていただきます。7ページ下段のところ、総排出量の削減目標に対する結果のところをご覧ください。平成28年度はCO2の排出量は6,662トンに対して、平成30年度は6,376トン。削減量にすると286トン、削減率は6.3パーセントという結果になりました。先程お話しさせていただいた通り、削減目標は5年間で16パーセントということですので、年間辺り2パーセントから3パーセント削減できると順調に進んでいるということになりますので、一年目の結果は順調な結果が得られたということになります。続きまして10ページをお願いいたします。こちらは二つ目の目標であります、各エネルギー使用量の削減目標に対する結果の方を掲載させていただきます。削減目標の方は6年間で6パーセントとなりますので、だいたい年、1パーセントということになります。真ん中の平成30年度の削減率は1以上の数字になっていれば、順調に目標に進んでいるということになります。順調に削減できたものもありますが、中にはマイナスになっているものもございまして、マイナスということは実際使用料が増えてしまっているということになります。電気や都市ガスの使用量が増えているという結果になっております。この原因として一番大きいのは、皆さんよくご存じだと思

ますが去年は災害級の暑さといわれるくらいほんとに猛暑でして、数々の統計開始以来最高との暑さの結果が出ていましてこちらの原因が一番大きいのではないかと考えています。江南市の中での原因としましては昨年度から KTX アリーナがオープンいたしまして、アリーナ部分の空調設備が入りましてその部分で少し使用料が増えたということがございます。最後 11 ページをお願いいたします。これらの平成 30 年度の結果を踏まえまして今後の課題ということになります。電気の使用量、一部の燃料の使用量が増えています。それから、今年度小中学校に昨年の猛暑の影響を受けましてエアコンの設置が必要ではないかということで、エアコンの設置がされています。このことから考えても今後さらにエネルギー使用量の削減というものが必要になってまいります。先程少し説明を飛ばしましたが、7 ページの方に第 3 次計画の基本方針としまして重点的に取り組む 5 つのポイントをあげさせていただいていますが、今後これらのポイントをさらに突き詰めてエネルギー消費削減、CO2 排出の削減に努めていきたいという風に考えています。私からの説明は以上になります。

○会 長

只今の説明について、何か質問はございますか？意見でも結構です。

それではないようですので、次の第三の新たな取り組み案に続きたいと思います。事務局の方説明をお願いできますか？

○事務局

新たな取り組み案について説明させていただきますが、その前に事前に提出していただきましたご提案に加えまして、委員様より追加にご提案をいただいています。皆さんの机の上に委員さんの提案書の方を 1 部追加させていただいてますのでよろしくお願いいたします。それでは説明を始めさせていただきます。昨年度の第 3 回の審議会の際に委員の皆様からのご提案や、市が抱えています課題、最新の話題などの中から特定のテーマを抽出しまして新たな取り組み案を事務局の方から提案してそれに対してご準備をしていただくという形とさせていただきます。今回初めての試みとなりますが、委員の皆様には多くのご提案をいただきましてありがとうございました。この後ご提案いただきました内容を発表いただきたいと思います。先程会長の方からお話ありましたがお時間もご都合もございまして、大変恐縮ですが簡潔に 3 分以内程度でご説明をお願いしたいと思います。それでは発表の順番は資料 2 にあります一覧表の一番上にあります会長からお願いしたいと思います。それでは会長よろしくお願いいたします。

○会 長

議事の進め方ですが、この回に先立って皆様の方から新たな取り組み案の提言を求めたところ非常にたくさん提言がありました。これをひとつずつしっかり説明していたらこれだけで二時間三時間じゃ終わりませんので何本提案している方についても、申し訳ないが、自分が重要だと思うもの一本に絞って一人三分以内でお願いしたいと思いますがいかがでしょうか？

では、できるだけ短く。手元の海洋プラスチックごみに関わる最近の動向を参考にしてください。

今年の6月大阪で開かれたG20の中の重要議題の一つとして、プラスチックごみの問題が取り上げられまして、その中で大阪ブルーオーシャン、こういうようなものが決議され、すでにヨーロッパでいくつかの国は既に具体的に動き出していて、使い捨てプラスチックは使わないということで、物を買ってもらってもそれは紙袋に入れて渡すだとか、日本でも外資の世界最大の喫茶店であるスタバがストロー廃止するという、ストローをプラスチックから変えていくというような動きをみせ始めていますけれども、日本の方でもようやく海洋開発研究機構というものがありまして、これがちょうど今月の28日から調査活動を始めます。まずとりあえず、プラスチック廃棄物が多いと思われる人口密集地の房総半島沖と相模湾沖に調査をやると。それから静岡県のあるところに普通のプラスチックと特殊なプラスチック、水につけておくとある程度分解されるプラスチック、これを三年間沈めてどれくらい変化するのか、そういう調査をするということから始めていくということです。私の提案には全部禁止の条例を作ってしまうという様な提案だったのですが、わが家を見てみるとプラスチック製品が山ほどあってとてもじゃないが、これをすぐにとっても無理だなということで、少し緩やかにしながら、まずとりあえず使い捨てプラスチックは使わない、そういうところから始めて、少しでも貢献ができればいいかと思います。ご承知と思いますが、カリフォルニアとハワイの間にある太平洋ベルトのところには四国の3つ分のプラスチックごみの塊が海流の関係でできていまして、そのほとんどが5mm以下のマイクロプラスチックでして魚の餌になっているところもありますので、ぜひその辺の問題を考えていきたいと思っています。

では次お願いします。

○委 員

私も、この前の新たな取り組み案というものを出された時に、それどころじゃないから知らんと思うような気持ちがあったから、最初出さなかったのです

が、そのうちいろいろ考えているうちに、環境省とか朝日新聞なんかの社説を読むと、気温なんか問題となってきたということが出てきまして、これは今最初にそれを、市民もよく知っていると思うのですが、具体的に名古屋の気温、ここ江南の気温は前もひとつひとつ調べたのですが、だんだん調べるのもおっくうになってきまして名古屋の気温の変化状況ということで皆さんの手元に資料を配っていただきました。言いたいことは、去年と今年とすごく変化が大きくなっていて、かなり大問題となってくるのではないかという不安があって、それが下のほうにある環境省の2100年予報に出ています。温暖化対策がこの間にどうなっていくか、朝日新聞の社説を参考のために、いろいろこれからの子供たちのためにも私たちが責任をもって考えなければならぬよということで資料を配らせていただきました。以上です。

○副会長

地球の環境に関していろいろ考えたのですが、温暖化の問題やマイクロプラスチックの問題など当然待ったなしの問題だなと考えるのですが、僕の専門分野からいくと日本における外来生物の問題というのはかなり自分たちの身の回りにも起きうる話になってきていて、たとえばセアカゴケグモも発見されたみたいですが、直接子供たちに影響のある話とか、あと、アライグマが最近とっても問題になっていまして、アライグマはそんなに問題ないだろうと考えられるかもしれませんが、結構病原体を体に持っていてもし噛まれたりしたら大変問題になるなと思います。こういう仕事についていますと外来種の話はついて回っていて、ぜひ江南市として外来種マップみたいなものが作れたらなと思ったのです。たまたま自分の家にも外来種が出たりだとかアライグマが頻繁に来てたり、最近もまた来てますけど、ほんとにそういう場合を考えると、とりあえずまずマップを作ってどういう対策をするかというのをできたらなと思いい提案をさせていただきました。以上です。

○委員

私の方は、プラスチックの利用削減という提案をする中で、プラスチックの利用を減らすということで簡単なことですが、提案をさせていただきました。プラスチックというのはペットボトルに特化していましてその利用を極力減らす、そのためにマイボトルを利用していくということです。プラス、レジ袋の削減も以前からやられていると思いますが、マイバックを皆さん利用されていると思いますが、それをさらに江南市の57運動と合わせてさらに啓発してはどうかと提案をさせていただきました。メリットは利用を減らすということで、ごみの減量化につながるのだと思いますが、デメリットとしましては、水筒などを用意しなければならない、それに代わるエネルギーの消費もあ

と思いますが、ごみを減らすという概念でやっていただけると思いましたので、提案させていただきました。以上です。

○委員

私はこの新しい取り組みをつくるのに、環境基本計画の悪いところを違うニュアンスで始めたのだけれど、二番の木曽川上流市町との交流ということで提案します。昨年度にも木曽川の上流の水の問題でお話ししたのですが、木曽川の水を愛する私達下流域にいる市民としては、上流の市町がきれいな水を送るために何をしているかを皆さん考えたことはありますか？この市町の中に木曽村、木曽町もありますがその町では新聞にもありましたが、木曽川最上流部の村で水に係わる人間らしく下流域の人たちに届く安心安全の水の確保のためにも森林整備を進めますと、森林整備からきれいな水を下流域の皆さんに送るということになります。それに対して我々は水は当然ただだ、いろんな感覚がありますが、前回も少し話しましたが、御岳山の噴火の時には水が下流域に届かないじゃないかと村の人も考え、実際この市町では一年間の予算が20億だとか30億しかない市町が、村が、この水を確保するために1億近いお金をかけているのです。それを我々は当然のごとくいただいているわけです。ここに書いてあるこの文章を読んでいただければわかっていただけたと思いますが、木曽川の沿線、木曽村、木曽町、大谷村、上松町、中津川、八百津町、御嵩町、犬山市、水問題研究所があるのですがなぜ江南市は水問題研究所に入っていないのかということをもっと私は気にしたのです。いかに木曽川の源流の村として、下流域の自治体、市民団体、学校等にきれいな水を送るかということに上流の市町はお金も気持ちもかけている。そういうことで、私がここに書いたのは、この市町と感謝の気持ちもありますが、人的交流などお互いにしたらどうかと。名古屋市ではやっているようです。私も10年くらい前に東白川村と交流しまして、市のバスで40数人が白川村に行きました。そこで白川村では本当に手厚いおもてなしを受けまして、森の発電所というところがあり、そこを見学し、東白川村のパイプオルガンの里というものがありまして、そのパイプオルガンもまたわざわざ村の方が我々45人程のために市民会館でパイプオルガンを弾いて一時間のミニコンサートをやってくれた。そういうことを考えたときに、いかに上流の人が下流の人にきれいな水が渡るかということをお金も気持ちも使っているということ。水問題研究所も水について考える、それについて江南市がなぜ入っていないかを聞きたかった。取り組む提案書を読んでいただければわかると思いますが、災害、地震などにより断層によって水が止まるということもあり得るということをも村も考えている。下流へ水が流せなくなるのではないかと。その地殻変動はないよ、ということも聞きましたが、絶対ないということはずありえないのです。地球の歴史の45億年くらいあ

るがその間に地殻変動が何回もあった。濃尾地震や、昭和20年には大きな地震が2つあった。今の岐阜県の、昭和20年の地震で断層が起きて薄墨桜の里の断層は昭和20年の終戦の年の地震で大きな被害を受けた。そういうことを考えたら我々は人間の歴史は2000~3000年、地球の歴史は45億年。だから何があっても不思議ではないということをいつも考えなければならない。下流の人にきれいな水を使ってもらうために、苦心し気持ちもお金も使っていることをわかっていただきたいということで、これを市町との友好関係とか情報共有とかそういうことをしたらよいのではないかと私は考え提案します。皆さんどう言う風に考えているかわかりませんが水は命の源なのです。安易に考えては駄目だということを私は提言したかった。それと水問題研究所になぜ江南市は入らなかったかを確認したかった。以上です。あと私は6件出しましたが、まだ4件書いてない。皆さん私は自分の街をよくするためのこれは原稿です。ノートをとってそれをこのように書いている。自分の町がいかにかわいいか、よくしたいという気持ちに、同じような気持ちになってもらいたい。以上です。

○委員

私の提案は、14と15と16になっています。

まず14は他の委員とだいたい同じですので時間ある時に読んでいただきたい。

15の脱炭素社会ですね。これも他の委員さんと重なる部分があると思いますが、私は愛知県の地球温暖化防止委員になっているので、その温暖化防止の推進を含めましてこういう問題を取り上げています。具体的には先程他の委員さんからもありましたが、レジ袋の有料化、これは江南市を見て回りまして無料のところもあると思いますが、かなり有料化されていないところもあるようですので、このようなところをまず取り組んでいていただきたいと思えますし、地球温暖化防止と、緑のカーテンの実施、これをもっともっと進めていただきたいと思えます。それで、地球温暖化防止の啓発事業としまして今まで愛知県の方からいろいろあったわけですが、今までその学校を対象に、ストップ温暖化教室ということで行われていたわけですが、なかなかその学校そのもので推進委員がうまくいっていない面もありましたが、今回放課後子供教室、学童や藤っ子教室になると思いますが、ここでもストップ温暖化教室が行われることになりましてご紹介ですが、宮田小学校、布袋小学校、門弟山小学校この3つの藤っ子教室と学童の合同になると思いますが、ここで具体的にも推進委員ができるようになったということはありがたいと思えますし、一つ一つできるところから進めていきたいと思えます。

○委員

他の委員と同じになると思いますが、江南市の生態系、絶滅危惧種や外来種の存在について知らないのです、ぜひ今回取り上げていただいて、市民に情報を周知してほしいし、絶滅危惧種がいるようであれば、できるだけ配慮するようにするべきではないでしょうか。そのためには、調査をして、パンフレットなどを作って、滅びゆく生態系があるようであれば、それを守るような意識を持ってほしいという趣旨で、市内の自然環境の現況を把握して、市民にPRしてほしい、という要望を出しました。

○事務局

ご発表いただいた委員の皆様、ありがとうございました。ここで、今回いただいたご提案の中から、2つか3つくらいに案を絞らせていただきまして、第2回以降の審議会で、新たな取り組みに関する具体案を事務局で作成させていただきたいと思っておりますので、ご審議お願いいたします。

お配りしております資料2で、分類表がございます。①プラスチックの利用削減、②特定外来生物の生物調査・自然環境調査、この2つにみなさまのご意見が集中しております。この2つの案を中心にご審議いただきたいと思いますので、委員のみなさまよろしく申し上げます。

それでは、会長さんにお返しいたします。

○会長

ということですが、どなたかご意見ありますか？

○副会長

今まで長いこと環境審議会に参加させていただいてますが、委員が何かを言っていて、市が動いて進んでいくということをやったことがないです。前回も感じていたのですが、やはり僕らは環境審議会の委員である以上は、江南市の環境のこと、もちろん地球環境のことも含めてですけれども、考えていく義務があると思います。今回このような形で、委員の方から意見を求めて、例え1つでも、何か事を成せたら、審議会が機能していると感じます。例えば、僕が出している外来種の問題など、木曾川の水の問題、温暖化の問題、いろいろありますが、全部、討論しながらやっていくというのは無理があると思いますので、できたら、1つ、特に温暖化の問題は差し迫ったものでありますし、マイクロプラスチックの問題も手が付けられなくなっているということを考えると、どれに優先順位を付けていくのかを、皆さんで考えた方がいいと思います。どれか1つに絞るのは難しいですが、1つ終わったら、次をやる、こういう考え方でいいと思います。1つだけやって終わりという考え方だと難しくなりますの

で、その辺で意見の調整を図っていったらどうかと思います。

○会 長

実は、木曾川上流域との交流を仕掛けたのは、私でして、十数年前になりますけど、御嵩に産廃の処分場ができるというときに、「命の水を守りたい」というパンフレットを5万部作りました。その後、当時の木曾福島、御嵩、犬山などに呼びかけて、御嵩にある自分の小さな山小屋にお集まりいただいて、いろいろ交流をしていました。それがきっかけになってできたものですが、一番簡単なのは、江南市も入ってくださいと。実は尾張部の水は、全部木曾川の水です。水のきれいさからすると、日本の3大水系の中で一番きれいで、他の2つと比べると倍くらいのきれいさを保っています。これをどのように守っていくのか、というのは非常に重要な問題です。ぜひ江南市も、流域の懇談会に参加していただくようお願いします。

プラスチックの問題は、いろいろ難しいことを言うことができなくなってしまうので、「使い捨てプラスチックはやめよう」というところからスタートして、環境審議会からアピールするとか、市議会から宣言を出すとか、そのあたりから可能性を探ってはどうかと思います。

植物・生物の多様性については、木曾川の河川敷を見ても、大変なんですよ。釣りをしている人を横で見てたら、ヌートリアが飛び出してきて、カミツキガメがいるとか、ブラックバスも手が付けられない状況ですし、オオキンケイギクも家庭にまで生えてしまっているから、手の打ちようがない。生物の中で一番大事なのは、ペットとして飼っていたものを放してしまうのが問題で、飼い主にも責任があることをアピールする必要があると思います。

私が提案したマイクロプラスチックの問題については、学者の中には、2050年には、魚よりもプラスチックの量が多くなってしまおうと言っている人もいて、既にイワシなどから、プラスチックが出てきています。クジラやウミガメからプラスチックが出てきたというのは、何度もニュースで見られたと思いますが、日本から出てきているものも多い。各国から流れてくるごみは、大体日本列島で止まってしまっていて、太平洋のごみベルトにあるごみは、3割が日本製だと言われていまして、恥ずかしいという気持ちを持って、やっていく必要があると思います。

みなさんからも、ご意見がありましたらどうぞ。

○委 員

私は、魚の中にビニールがあるという話を聞いて、とにかく、今あるものを使わないということを決めた方がいいと思います。現在まで、4Rを実施してきたわけですが、今後もビニール製のものを使わない、一切なしにするという

ことを決めなければ、極力減らそうと言っても、進めないのです、もう一度、4Rについて、考え直す必要があると思います。そして、ごみ減量に取り組んでいる江南市が、いち早くプラスチック問題に取り組んでいくといいかなと思います。

○委員

江南市から、河川や海洋に出るプラスチックは、どれくらいありますか。今、分別やリサイクルをしっかりとやっているのですべて回収されれば、川や海には出ていかないのです、そんなに多くはないと思いますが、どうですか？

○会長

おそらく江南市はそのようなデータを持っていないと思います。要するに、市民が持っているプラスチック製品が回収されているか、ということですが、今は、民間のリサイクルボックスがありますし、実際どのように処理されているのか、わからない。なので、本当は、プラスチックを使わないという方がいいのですが、それは無理なので、できることからやっていく、啓発をやっていくことが必要だと思います。

○委員

副会長の話にもありましたが、地球規模の大きな話から入りましたので、ちょっとテーマが大きすぎるのでは、と思っていましたが、環境問題・ごみ問題は身近な問題なので、目の前にあるものから解決していけると、分かりやすいと思いました。例えば、陶器のストローなどを啓発に使って、審議会では何か形で残せるといいかなと思います。

○委員

今回資料をいただいて、計画の評価をやっていくと思っていたので、新たな取り組みの話は、意外でしたが、これからこの提案を1つにまとめていく、優先順位をつけていくということは、難しいと思います。

○会長

無理して1つにしなくても、いい提案はありますので、これから先の審議会ですべてに詰めていければ、と思います。あまり、最初から無理して1つに絞るのは難しいかもしれないですね。

○委員

市民に対して、どうアピールしていくかというのが大事だと思います。審

議会で議論したことが、市民にいかん反映されるか、このために、例えば、環境フェスタという場があるでしょうし、環境学習会の講座などで、環境審議会でどういったことを議論しているかということ、反映させていくことによって、市民の真の意見を聞ける可能性が強い。それについて、いろいろな環境問題について議論していくことも1つの手法かと思います。

○会 長

環境課の職員は、市民の方から見ると、1人1人が環境のプロと見られるわけです。ところが、実態は、異動したばかり、ということもある。2～3年で異動してしまうこともあるが、環境課にいるうちに、何か1つテーマを決めて取り組んでほしい。若い方にも、専門性をもって勉強してほしいと思います。

○委 員

今回の話を聞いて、かなり内容が多岐に渡っているの、これを年3回の審議会でするのは難しいと思います。ですので、審議会をテーマごとに細分化して、分科会を設けてはいかがでしょうか。

○会 長

それも1つの考えだと思います。事務局で検討してみたいはいかがでしょうか。

○事務局

テーマを決めて審議をしていただきたいということで、提案させていただきましたが、できれば、副会長が言われたように、実効性のあるものに環境課で整えて、市民の方にPRしていきたいと考えております。ですので、あまり大きなテーマになり過ぎず、実際の市民生活に即した内容の提案がいいと思います。

○会 長

テーマが多種多様になり過ぎると、審議会も年3回では少ないかもしれない。なので、ある程度絞りながらやっていくことも必要かもしれないし、分科会のようなグループを作ってできるかどうかですね。本当は、議員と話すこともやってみたいとも思っています。

○委 員

長く審議会の委員をやっていますけど、市民はこの存在を知らないですよ。

審議会で何をやっているかということも知らない。そんな状況で環境がよくなるはずがない。根本的に考え直さないといけない。市民が、市は何をしているのかということを経験しないといけないと思います。

○会 長

今日の場合は、新たな提案ということで、いろいろな問題が出てきて、これからどうしていくのかということを考えていく必要があると思います。

よろしければ、今日出た問題を持ち帰って、委員の皆さんにも考えていただきたいと思います。次回はいつですか？

○事務局

次回は、10月28日（月）です。ただ、議題がもう1つ残ってしまっていて、その説明だけさせていただいて、終了にしたいと思います。資料③災害廃棄物処理計画です。まずは、趣旨ですが、ここには、計画を作る目的が書いてあります。2番目は、この計画の位置付けを図にしたものです。対象とする災害は、地震、風水害その他の自然災害としています。4番目の被害想定は、南海トラフ地震、市内の最大震度5強を想定して、この計画を作っております。5番は、災害廃棄物の対象となるもの、6番目は、基本方針ということで、衛生状態の確保から担当職員の教育・訓練までとなっています。それから、7番目には、推計発生量と処理フローということで、推計発生量は、約7,761t、これを可燃ごみと不燃ごみに分けて、最終的には、焼却及び中間処理、最終処分、再資源化に分けるというものです。仮置き場の設定は、一次・二次ともに蘇南公園の多目的グラウンドを予定しています。9番目にはし尿処理のこと、発生量などを記載しています。10番目には、広域的処理、本市で処理が困難な場合は、応援要請を行うとしています。この計画については、まだ時間がありますので、持ち帰っていただいて、次回、またご意見をいただきたいと思います。一番気になるところは、仮置場が蘇南公園というところになりますので、そのあたりを含めて一度目を通していただきたいと思います。

○会 長

過去に江南市で、震度5強の地震はあったことがある？

○事務局

ないと思います。江南市は、他の地域と比べると、1ぐらい少ないので、あっても3ぐらいかなと思います。また、一度目を通していただいて、何かあれば対応させていただきます。会議後には、本編も合わせてお送りいたしますので、よろしく願いいたします。

○会 長

毎回熱心なご審議ありがとうございました。

それでは、これで第1回環境審議会を終了いたします。